

中学受験に必要な学力はじっくりと時間をかけて基礎を固め、その上に思考力・応用力・表現力を着実に積み重ね、初めて入試に対応できる「骨太な学力」が身に付きます。日能研駒沢大学校ではそんな環境をご用意しています。

## 1. 中学受験専門塾

日能研は創立以来「中高6年間一貫教育」を高く評価し、少年期から青年期における教育は、中学・高校と分断されることなく、一貫した教育理念の中で継続的に行われることが望ましいと考えています。したがって、その存在基盤から考えて、日能研「本科教室」には高校受験は存在しません。

## 2. 1教科専任のプロ集団

中学受験を考えたとき、1人の先生が複数の教科を担当することは不可能です。なぜなら首都圏だけで中高一貫校は約300校あり、毎年これらの学校の入試問題をすべて研究し、「教材・テスト開発」「授業」「質問対応」等に反映させていく必要があるからです。したがって、日能研の授業では、1教科プロ専任制で専門性を高めています。学生アルバイトは授業をしません。また、子どもたちの授業満足度を高めるための「講師評価制度」も導入しています。

## 3. 学力を伸ばす集団授業

1クラスの人数は平均10~25名前後。「学力別クラス編成」によって学力レベルを一定に保ち、学習進度・理解度に応じた授業を展開しています。ここでは、同等の学力と「中学受験」という同じ目標を持った子どもたちにプロの講師陣が加わり、「活気と熱気と元気」に溢れた授業が成立しています。お互いに刺激あいながら、自らを高めていく授業。それが日能研の「集団授業」です。

## 4. 理想的な関係

授業は1教科専任制ですので、科目ごとに講師が変わります。4科目であれば4人の講師と、教室スタッフ(クラス担当)が加わり、5人がチームとなってクラスを見ていきます。多くの目で多面的に子どもたちの個性を把握し、一人ひとりの長所を見いだそうとしています。子どもたちにとっても、たくさんの先生から見られているという安心感が得られ、また、いろいろな先生に相談ができます。子どもたちと講師との理想的な関係が、日能研には存在します。

## 5. 「復習」中心の学力育成

日能研の学習は「復習」中心です。小学生にとって「予習」は家庭での負担が大きすぎます。新鮮な気持ちで授業に臨んでもらいたい。生半可な予備知識によって、授業内容に対する興味を失ってほしくないのです。子どもたちにとって1年生、2年生は遠い未来です。本科教室では「授業→復習→テスト→振り返り」という最小限の学習サイクルによって身近な目標を設定しています。短期目標の反復の先に確かな「合格」があるのです。中学受験を目指す子どもたちにとって、復習中心の学力育成システムは、ベストスタディーサイクルです。

## 6. オリジナル教材

本科教室で使用するテキスト・テスト・プリントは、すべて最新の入試問題を反映させたオリジナルです。「いつ」「何を」「どこまで」学習するかが明らかな構成になっています。授業では主に「本科テキスト」を使用し、復習用教材として「栄冠への道」があります。『栄冠への道』は、個々の弱点や理解不足を、できる限り自力で復習できるように構成されています。

## 7. 逆算・螺旋型カリキュラム

日能研の学習プログラムは、中学入試問題から逆算式に編成されています。入試に必要なすべてを各学年で習得可能な範囲で厳選・再編し、螺旋型に組み立っています。同じ学習単元を、学年が上がるとともにレベルアップをはかりながら繰り返すことによって、受験に対応できる力に高めていきます。

## 8. 合格のための設計図「シラバス」

本科教室には「シラバス」があります。シラバスには年間の学習プログラムの流れ、カリキュラムの進行が、明確かつ詳細に提示されています。「いつ」「何を」「どこまで」学習するかを、オリジナル教材と連動させながら、よりの確につかむことができます。シラバスは、入会の段階で皆様にお渡しします。「日能研でお子さまが何を、どう学んでいるのか」を随時把握し、お子さまとのコミュニケーションツールとして活用してください。

## 9. 総合力で入試をクリア

本科教室のカリキュラムは、2科目または4科目をバランスよく学習し、すべての入試に対応する総合力を高めます。中学入試では、特定の学校のみに通ずる学力はありません。1科目だけに突出した学習や、特定の分野だけに偏った勉強は論外です。大切なことは「合格」のためだけの勉強ではないということ。子どもたちが希望の中学に入学してから伸びる力、大学入試にも対応できる力の育成を目指しています。

## 10. 得意伸長・弱点克服

本科教室や期間講習に並行して、「単科教室」や「特別選択講座」が開講されます。科目別あるいは分野別・単元別に得意分野を伸ばし、不得意分野を補強します。「6年練成算数教室」「6年国語得点力アップ講座」「6年難関校対策講座」「5年算数基礎力アップ講座」等、本科教室を基軸に展開される学力サポート講座です。

## 11. 志望校対策

日能研入試問題研究特別講座(日特)で、入試までの1年間を使って志望校対策を行います。2月~7月は、最新の入試問題を素材とした「傾向別・分野別対策」を実践。続く、9月~1月で志望校を目標とした「学校別対策」へと連結します。添削指導による個別対応で、子どもたち一人ひとりの学力を、志望校の入試特性に対応させていきます。6年後期本科教室授業内でも、授業担当者の指示に基づき、併願校を含めた過去問添削指導を、入試直前まで継続的に実践していきます。

## 12. 受験の情報発信基地

日能研の情報とデータは他を圧倒しています。その収集能力・加工能力・分析能力は他の追随を許しません。受験データ(応募者数・倍率・合格者数等)や入試データ(出題分野・形式・難度等)、学校情報(入試要項・学校生活・進学実績等)、および、子どもたち一人ひとりの成績データ(得点・評価・偏差値等)など、中学受験に関するすべての情報が日能研には存在します。膨大な情報とデータは、必要な時期に子どもたちや保護者にフィードバックされ、学習指導や受験指導に活かされています。例えば、日能研では毎年すべての入試問題を1問ごとにコード化し、分野・形式・難度別に分類・蓄積しています。これらのデータを学校単位で加工・分析し、子どもたちの成績データとマッチングさせることで、入試問題との相性や合格までの距離、そのための必要な対策が、客観的なデータを基に見いだされていくのです。

## 13. DI学習支援システム

テストの採点は、DI採点で行います。テスト終了後、回収した答案用紙を教室内でスキャンし、すぐに子どもたちに返却します。子どもたちはその場で、自己採点を始めます。テストを受けた当日に(テストへの興味・記憶が消えないうちに)、見直しができる画期的なシステムです。採点された答案は、テスト実施から2日後に、得点結果・平均点・順位等とともに、各ご家庭のパソコンからご覧いただけます。答案用紙をデータ化することで、解答の残し方や記述の仕方などの変化・成長度に気づくことができます。

## 14. 随時の「学習相談(個別面談)」

効率的に学習をすすめるためには、どこまでを理解し、どこを理解していないかを明確しておく必要があります。日能研では、膨大な成績データから個別の成績データの特性を分析し、学習指導の基礎資料としています。個別の成績データは様々な形に加工され、学習処方箋と効能薬として、「学習相談(個別面談形式)」を通して、一人ひとりに提供されます。

## 15. 多種・多様な「保護者会」

日能研では、多様な保護者会を行います。保護者会(「オン・ザ・ロード」「志望校選定保護者会」「併願作戦立案保護者会」など)では、最新の受験情報や学校情報を提供したり、出願から入試直前までの過ごし方を説明(「出願準備保護者会」等)したりします。受験相談では、入試データを、個別の成績データとリンクさせた形で加工し、志望校選定の資料として活用しています。膨大かつ信頼できる情報とデータに裏づけられた日能研の受験指導は、どこにも真似のできない正確さを有しています。また、授業担当者と教室スタッフの連動により、一人ひとりの性格や学力特性を十分に把握し、偏差値にとらわれず、あらゆる側面から「その子にとっての一流校」を目指します。これが日能研の受験指導です。

## 16. 理科実験イベントの実施

受験期を除き、理科実験イベントを低学年を中心に実施しています。受験勉強とはまったく離れたような実験もありますが、やってみると中学受験に繋がって行くような発見がたくさんあります。“子供の興味・関心を引き出して伸ばして行く”よろしければ是非ご参加ください。多くの日能研の教室の中でもこれだけ多くの理科実験を実施している教室はほとんどありません。

## 17. 「自習室」を開放

理想的な復習形態は自学自習です。日能研は授業を通して子どもたちが「自立した学習者」になることを、常に目標にしています。しかし、学習習慣が身につくまでは、自分から勉強に向かうことはなかなか難しいものです。そこで、駒沢大学校では「自習室」を設置し、子どもたちが利用できるように開放しています。授業前や授業後、あるいは授業のない日にも、たくさんのお子様が毎日頑張って自習室で勉強しています。そのため勉強に取り組む姿勢が非常に高く、自習をする生徒のもともとも多く、最後まで諦めず粘り強く受験に向けて勉強する生徒が多いです。

## 18. 「体験授業」はお気軽に

塾選びのポイントは様々です。中でも授業のスタイルや雰囲気に関しては、実際に目で見て判断したいところです。日能研の各教室では、随時お子さま対象の「体験授業」を受け付けています。体験授業に参加することで、他の生徒の様子や先生の教え方、全体の雰囲気を肌で感じることができます。どうぞお気軽にご参加ください。

## 19. クラス担当(教室スタッフ)

教室スタッフがそれぞれ特定のクラスを受け持ち、授業担当者とチームを組んで、子どもたち一人ひとりを継続的に把握していきます。学習アドバイスや意識付け、担当クラスの成績管理、保護者面談等は、クラス担当が中心になって行います。保護者様とも気軽にお話しでき、頼れる存在でありたいと思っています。相談ごとがございましたら、お気軽にクラス担当までお申し付けください。

## 20. MY NICHINOKEN

日能研では、ご家庭と日能研とをインターネットでつなぐ会員制Webサービス「MY NICHINOKEN」を開設しています。日能研生の個人専用のプライベートサービスで、いつでも、どこからでも、お子さまのテスト結果(得点結果・平均点・評価・偏差値・順位・採点答案等)や時系列データ、分析データ、教室からのお知らせ等がご覧いただけます。最新の学校情報や入試状況、学習サポートのコンテンツも年々充実しており、ご家庭での学習と日能研での学習とをつなぐ「学習支援ツール」として、機能しています。

## 21. 子どもたちの安全のために

子どもたちの安全確保と保護者様の安心のために、日能研では「Nセキュリティ」を設置しています。最大の特徴は、スタッフ全員が警視庁や県警のOB、つまり最前線で治安を守ってきたプロ集団によるセキュリティ組織だということ。登下校時の教室および最寄り駅周辺の見回りや、教室への不審者の侵入防止、保護者からの防犯相談等、子どもたちの安全に関わる様々な場面で活動しています。子どもたちには、全員にNブザー(防犯ブザー)を配付し、話し込み等を通して、安全確保に対する意識を持たせています。また、日能研の各教室には、防災用具や非常用の保存水が常備されており、いざという時の備えもしております。駒沢大学校室長は「上級救命技能認定書」(自動対外式除細動器業務従事者)の資格を取得しています。

## 22. 子どもの気持ちを理解するために

子どもの気持ちを少しでも理解して行くために、職員は様々な外部研修にも参加しています。教室常駐職員は、社団法人日本青少年育成協会「初級教育コーチ養成講座ECTP知識編」の課程を受講修了しています。また、駒沢大学校室長は「教育コーチ認定証」(初級)を取得しています。また、人間の一生において「親であること」は、とても重要な課題です。親子関係は暖かく、むつまじく楽しいものでありたいし、個人としてもまた家族全体としても人間的に成長を続けられる家庭環境は素晴らしいものです。親業訓練講座とはそれを具体的な形にした内容の講座です。駒沢大学校室長は親業訓練講座(Parent Effectiveness Training Course)の全課程を修了し、スクール・コーチング・プログラムTALK(Teacher's Active Listening for the Knowing)の課程を受講修了しています。

はじめから完璧にできる子はいないと思います。しかし、子どもたちは誰もが大きな可能性が持っています。それを信じ、開花させる機会を与えてあげたい。そして、もっと伸ばしてあげたい。これが私たちの願いです。

中学受験を目指す子どもたちを、そして保護者様を日能研駒沢大学校スタッフは全力で応援し続けます。

